

727 かなな ごとう 金名の郷頭



指定種別：未指定
所在地：新市町常
見学情報 WC・東屋

金名川に築かれた水流調節用堰（ダム）。橋を兼ねており、府中市本山境の皆米峠に至る。構造は石積みで、上流に向かって張り出すアーチ式ダムであり、導水部は横穴式石室のような持ち送り構造で天井石が架かります。1840(天保11)年、子年の大水を引き起こした豪雨では、上流の権現池（現：切池）の堤防が決壊し、直下の野原池を押し流して土石流となりましたが、郷頭で食い止めて下流の村を守ったとの言い伝えが残っています。

728 しんいち歴史民俗博物館



所在地：新市町新市916
見学情報 P WC ♿
JR福塩線新市駅より約900m、開館時間／9:00～17:00 休館日／月曜休館（祝日の場合、翌日休館）・12/28～1/3 休館 臨時有 入館無料（特別展有料の場合有）、☎0847-52-2992

福山市北西部の資料を中心に展示しており、宮脇遺跡、神谷川遺跡などの出土遺物も展示しています。備後緋の保存と活用にも取り組んでおり、染め体験もできます。（団体のみ、要問い合わせ）

729 新市工業団地古墳公園



所在地：新市町相方
見学情報 P
JR福塩線上戸手駅より約2.5km

造成工事中に発見、発掘調査された後池第17号古墳を現地で保存整備した公園です。墳丘を盛りなおし、石室は失われた石を補って内部が見られる状態で復元しています。公園のモニュメントは、付近の潮崎山古墳出土の三角縁神獸鏡を模したものです。

730 あわづか 粟塚古墳の丘



所在地：駅家町法成寺（福山北部工業団地に隣接）
見学情報
JR福塩線駅家駅より約3.5km

工業団地造成に伴って発掘調査された、狼塚2号古墳と正福寺裏山1号古墳を移築し、もともとこの地にあった粟塚古墳群とともに整備した公園です。正福寺裏山1号古墳は、竪穴式石室で連弧文縁四獣鏡が出土した4世紀の古墳です。狼塚2号古墳は、玄室と羨道の間に玄門と梁をもつ横穴式石室で、7世紀の築造と考えられます。

福山市内の無形民俗文化財

二上りおどり

盆踊りの一種と考えられ、江戸時代には旧盆の8月14日から3日間、三味線の「二上り」を基調に胡弓を配した地方（じかた）に合わせ、頭に折笠や頬かむりをし、手に団扇を持ち、思い思いの踊りで三々五々組を作って練り踊ったもので、唄がないのが特徴です。踊りの起源は定かではありませんが、江戸時代中期ごろに江戸詰め福山藩士によって江戸から伝えられたと考えられます。現在はふくやま夏祭り（8月13日～15日）で盛大に踊られています。

801 にあが 二上りおどり



指定種別：県無形民俗文化財
所在地：福山市丸之内

旧福山城下の二上り踊りは、1928（昭和3）年以降、団扇に代わって四ツ竹を手に持つようになりました。

802 神辺二上り踊り



指定種別：市無形民俗文化財
所在地：神辺町

神辺二上り踊りは、四ツ竹を持たず、団扇を持つことが特徴です。

ひんよう踊り

この踊りは「花踊り」とも「きりこ踊り」とも呼ばれ、旧沼隈郡内の津之郷・赤坂・神村・本郷・金江を中心に、旧盆に、氏神社で豊作や氏子の無病息災に感謝して踊られたものです。踊りの様式は、竹の先に御幣を付けた梵天を持つ人を中心に、キリコと呼ぶ上部を花で飾った灯籠を頭に載せた（あるいは手に持った）踊り子が外側を輪で囲み、太鼓の拍子と音頭に合わせ「ひんよー」「ひんよー」と囃して踊るものです。記録から、少なくとも江戸時代中期頃には盛んに踊られていたと推察できます。

803 津之郷惣堂ひんよう踊り



指定種別：市無形民俗文化財
所在地：津之郷町

津之郷惣堂神社の秋祭りで奉納されています。

804 ひんよう踊り



指定種別：県無形民俗文化財
所在地：本郷町

本郷八幡神社の祭礼で奉納されています。

神楽

広島県は神楽が盛んですが、福山市内でも江戸時代中期には各地で神楽が奉納されていたことがわかっています。菅茶山の『御問状答書』（1818年）に記載された演目に符合するものがあり、江戸時代後期から現在に伝わる道具類も残っています。

805 備後田尻荒神神楽



指定種別：県無形民俗文化財
所在地：田尻町

田尻町本郷に所在する別所・勘定・良の三荒神社の境内に舞台を仮設し、式年にあたる寅歳・午歳・戌歳の晩秋に奉納されています。

806 本郷神楽



指定種別：県無形民俗文化財
所在地：本郷町

横町荒神社（現本郷八幡神社に遷座）の祭礼に、式年にあたる丑歳と未歳に奉納されています。

はねおどり

はねおどりは古くから旧沼隈郡一円と旧深安郡南部などで踊られたもので、その原型は農村行事の「虫送り」「雨乞い」に求めることができます。初代福山藩主の水野勝成が、この勇壮で活気に満ちた踊りを気に入り奨励したと伝えられます。音頭に合わせ飛び跳ねるように鉦や太鼓を打つ姿からこの名が付いています。

807 はねおどり



指定種別：県無形民俗文化財
所在地：田尻町

田尻町の八幡神社などの祭礼や盆の精霊祭りなどで踊られています。

808 はねおどり



指定種別：県無形民俗文化財
所在地：沼隈町

沼隈踊りとも呼ばれ、毎年8月第1土曜日に山南区の夏祭り（山南小学校）などで奉納されています。

809 蔵王のはねおどり



指定種別：県無形民俗文化財
所在地：蔵王町

毎年10月第3日曜日に蔵王八幡神社の秋季例大祭などで奉納されています。

810 御領はねおどり



指定種別：市無形民俗文化財
所在地：神辺町

上御領八幡神社の秋祭りなどで奉納されています。

その他

811 お手火神事



指定種別：市無形民俗文化財
所在地：鞆町

鞆祇園社の祭礼に先立って行う祓いの行事で、長さ3m以上、重さ約150kgの大きな3つの手火が沼名前神社の階段を登ります。参拝者は手火を小手火に移して家に持ち帰り、家内安全・五穀豊穡を祈り、大手火の木片は厄払いの護符とされます。毎年7月第2土曜日に沼名前神社で行われます。

812 お弓神事



指定種別：市無形民俗文化財
所在地：鞆町

鞆の八幡神社の祭礼で、年頭にあたり悪鬼を射払う破魔弓の変化したものと考えられます。旧鞆7町の氏子が輪番で行っており、古式にのっとり儀式が行われたあと、大弓主・小弓主が交互に3回矢を射ります。毎年2月第2土・日曜日に沼名前神社で行われます。

813 能登原とんど



指定種別：市無形民俗文化財
所在地：沼隈町

もとは左義長ともよばれ、能登原では10m近いとんどに飾りをつけ、町内を練り歩きます。市内では練り歩くとは昭和30年代には姿を消しており、市内唯一の例として貴重です。毎年1月第2日曜日に能登原小学校で行われます。

814 柞磨の継獅子舞



指定種別：市無形民俗文化財
所在地：芦田町

大獅子あるいは百足獅子といわれる系統の獅子舞で、福山ではこの地域のみで行われています。伝えによると1644（正保元）年柞磨八幡神社を遷宮した時、氏がこの舞を奉納したのが始まりとされます。胴布とよばれる獅子幕の外に数十人、獅子の両側には花笠をつけた稚児が太鼓と掛け声に合わせて銅拍子を鳴らす大規模で勇壮な獅子舞で、2年に一度、秋祭りに奉納されています。

815 鞆の浦鯛しばり網漁法



指定種別：市無形民俗文化財
所在地：福山市鞆町

鯛しばり網漁法は、春先に産卵のため鞆の浦沖に集まる鯛を捕獲する方法として考案された漁法のひとつです。江戸時代より行われていた瀬戸内海を代表する漁法で、長い歴史の中で変遷を遂げ、現在では希少となりましたが、瀬戸内海域の漁業の様相を示す貴重な漁法であり、名勝鞆の浦を代表する風物詩となっています。毎年5月上旬から約1ヶ月間、鞆の山酔島を中心とした海域で開催。観光鯛網として一般に公開されています。